

- 1 **当該学年・学期等における探究課題** 《地域》
- 2 **単元名** 『馬越恭平について調べよう』（全２４時間＝実施時期：９月～１２月）
- 3 **単元のねらい**

郷土の偉人「馬越恭平」について、地域の方の話を聞いたり、見学をしたり、まとめて発表したりすることを通し、解決の手順や方法を考え、見通しをもって取り組み、相手や目的に応じてまとめたり発表したりする力を育てる。

4 **主な活動とふるさと井原の「もの」「ひと」「しごと（こと）」との出逢いの仕掛け、引き出された子どもの姿**

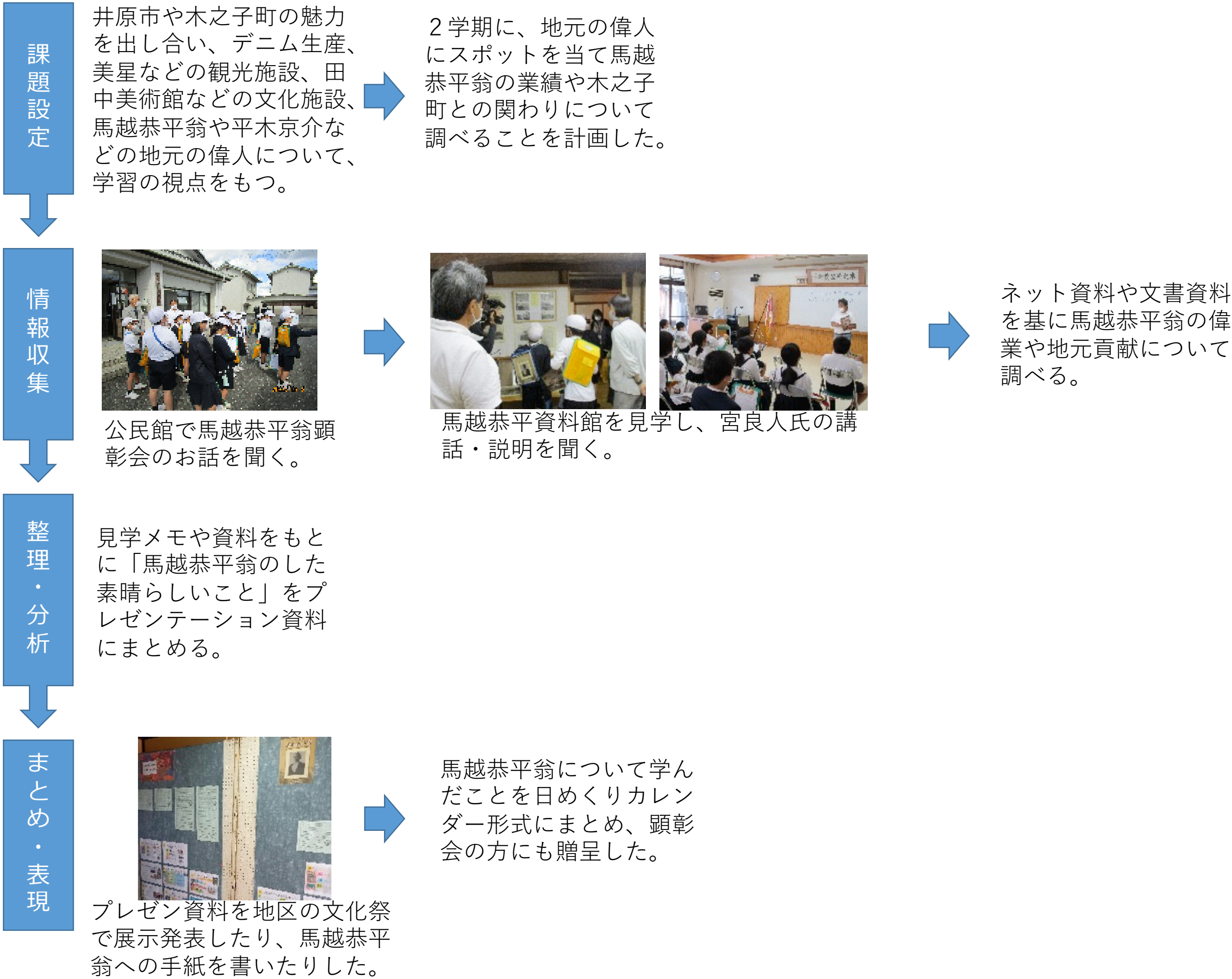
		課題設定	情報収集	整理・分析	まとめ・表現
主な活動		馬越恭平について知る。	地域の方に話を聞く。 資料を読む。見学に行く。	個人やグループで調べたことをプレゼンテーション資料にまとめる。	調べたことをプレゼンテーション資料にまとめ、地域の文化祭で発表する。
出逢いの仕掛け	もの	馬越恭平資料館、三光寺、縣主神社、馬越橋、稲木川	地域の方の話を聞く。 資料を読む。 見学に行く。	ワークシートにまとめる。プレゼンテーション資料にまとめる。	「きのこふれあい文化祭」でプレゼンテーション資料を掲示し、展示発表をする。
	ひと	馬越恭平、平木京介	地域の方の話を聞く。 資料を読む。 見学に行く。	ワークシートにまとめる。新聞にまとめる。	まとめたことを使って、日めくりカレンダーを作り、お世話になった方に渡す。
	しごと（こと）				
引き出された姿	いばら愛 （郷土愛と当事者性）	馬越恭平の生涯を知る。	馬越恭平について知り、木之子町との関わりについて知る。		
	やり抜く力 （忍耐と向上心）			調べたことを個人でプレゼンテーション資料にまとめる。	
	まき込む力 （発信と協働）				地域の人に向けて発表する。

5 **他教科・領域、学校行事等との関連**

社会科「地域のはってんにつくした人々」

6 **他学年、他校（園）種との連携・接続・交流**

7 単元の流れ（探究過程）と活動の実際



8 成果（○）・課題（△）・来年度に向けて（☆）

- 馬越恭平資料館や三光寺、稲木川、馬越講堂跡など見学を通して馬越恭平が木之子町に多額の寄付を行っており、今でも自分達の暮らしに関わりが深いことを学べた。
- 多くの地域の方からお話を聞くことで、馬越恭平の業績や全国的な活躍などについて多面的に知ることができた。
- △学習の進度と見学先や地域の方の都合が合いにくく、打ち合わせが大変であった。
- ☆早めに子ども達と相談して見学場所を決定し、見通しをもって学習できるようにする。